

今年の夏山シーズン富士には二四万七〇六六人が登山したとの事、二十万人突破は二十一年ぶりでその要因は一、七・八月の大候の安定二、世界遺産への取り組みで注目を集めた三、団塊世代の余暇利用四、山小屋の快適登山の活動定着と言われています。この要因は山岳観光を進めている南アルプス市にも共通して言えることだと思います。昨年九月の飯野議員の質問に對する答弁で山岳観光に訪れた観光客は延べ十二万人、果樹観光は十万人が訪れているとの答弁。私は夏山シーズンにマイカー規制が平成十六年から行われていますが、平成十六年からの北岳を中心とした登山客の推移がどうであるのかまず質問します。

広報南アルプス九月号でも特集を組んで北岳に登ろうとかけています。北岳を中

南アルプス市民クラブの金丸忠仁です 観光について

答弁（穂坂農林商工部長）

金丸忠仁議員のご質問にお答え致します。

十四年度に南アルプス林道の土砂崩落により通行止になり、結果として通行止めになりましたが、県の関係機関のご努力による復旧工事や市が温泉ロッジ周辺の駐車場整備を行うなかで、平成十六年度からのマイカー規制による南アルプス林道の供用が開始されました。通行止からの開通を待ち望んでいた登山者のシーズンにおける駐車場利用状況では、平成十九年度の利用台数実績によりますと一一、一四台でありました。南アルプスへの登山者推移では、平成十一年度は通行止・マイカー規制により平成十四年度の五十%と登山者の数が激減いたしましたが近年では、マイカー規制前に取り戻しつつあります。今年は七月と八月は、好天に恵まれたことにより非常に多くの登山者で賑わい昨年の宿泊者数（四一、七七六人）を上回る山小屋の状況であります。次に、多くの登山愛好家に南アルプスへ来てもらうにはいろいろな方策への考えであります。現在、北岳周辺には大小五つの山小屋があり定員が概ね五百六十名となつており現状でも最盛期には一日に定員の三倍～四倍近い人が

また、果樹観光と組み合
せた日帰りで南アルプスを満喫できるさくらんぼ狩りや桃狩りなども楽しめる新たなコースメニューの検討、さらに紅葉シーズンには紅葉を満喫していくただけるツアーノども検討するなかで受入れを考え行きたいと思います。

次に今年の山岳遭難事故の件数は。また、現在取り組んでいる主な事故防止対策はですが、本年度、南アルプス山系では二十三件の遭難事故が発生しており、その内十件が北岳での発生ですが内死亡者は一名となつております。

近年の登山者の傾向は高齢者が多く見受けられます、若者のトライアル登山（走ってタイムを競う登山）が多く目に付き登山道の険しい北岳は事故の発生率が多くなりつつあるところです。

ゴミに対する質問は過去六回の定例会において四人の議員が質問しており私も昨年十二月定例会におきまして質問した、「ゴミ出しルールの統一化」、「ゴミ処理実態のPR」、石川議員の「分別収集と減量化に対する住民意識向上を図る方策は」、穴水議員の「月一回の種別リサイクルを、缶ビン、紙などと同じ日に出せないか」、「資源ゴミを出せるリサイクルプラザを、旧町村に一箇所くらい設置する考え方」、名取議員の「ごみの減量についてどのような対策をとっているか、対策によりゴミの減量は進んでいるか」。そこで過去の質問と答弁から平成十八年四月に作成したゴミ分別収集マニュアルと各地区のごみ収集カレンダーにより各地区区長さん、環境美化員さん、地区役員さん市民の皆様の理解と協力により、順調なゴミ収集がなされてお

資源ゴミと リサイクル・プラザ について

本市におきましては、平成十七年に市職員で構成する南アルプス山岳救助協力隊を組織し、二十五名の隊員で警察署員や芦安地区救助隊と併に山岳遭難事故防止啓発や捜索活動を行つております。平成十九年度の活動実績は関係機関との合同により春、夏、初冬、冬期に登山者への遭難事故防止の指導・啓発や遭難者の捜索を行つております。本年度におきましても、同様の活動を行つており、今後も本市山岳観光の中心であります、北岳やそれに連なる山々を訪れる登山客に対し、安心安全登山の啓発活動を行つてまいりますので、ご理解を賜りたいと思います。

金丸忠仁議員の質問にお答え致します。
先ず、一番目のご質問についてでございますが、いま市では、資源ごみも含めごみ収集は、各家庭に配布されていけるごみ収集カレンダーのスケジュールにより収集が行なわれております。特に資源ごみ収集につきましては、収集方法も

答弁（中鳩市民部長）

質問にお答
ご質問につ
が、いま市
含めごみ收
布されてい
ダ-のスケ
集が行なわ
源ごみ収集
収集方法も



南アルプス市民クラブ 9月定例市議会一般質問 (全文紹介)

金丸忠仁
第7号

(政務調査費)
平成20年10月30日発行

発行:南アルプス市民クラブ
山梨県南アルプス市藤田1620-2
TEL/FAX:055-284-4175
Eメール:uc34in@bma.biglobe.ne.jp

金丸忠仁